

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

RI会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは地域とともに

富津中央RC会長 渡辺 務

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2619 第4回例会 2020. 7. 30 曇 時々 雨

点 鐘：渡辺 務 会長

進 行：玉井百合子 SAA

ソング：それでこそロータリー

お客様：第2790地区ガバナー 漆原摂子様

第5グループガバナー補佐 窪田 謙様

地区大会実行委員長

勝浦ロータリークラブ 磯野典正様

マザー牧場営業課長 須田泰弘様

### 会長挨拶

渡辺 務 会長



皆さんこんにちは。

今日は漆原摂子ガバナー、地区大会実行委員長 磯野典正様、そして窪田謙ガバナー補佐をお迎えできたことを大変光栄に思います。

ゲストの皆さん、ようこそお越しくださいました。本日は一緒に素晴らしい時間を過ごせることを楽しみにしております。後ほどお話を頂戴いたしますのでよろしく願いいたします。

毎日、コロナウイルスの陽性者が何百人と報道されたり、この地域ではいまだに去年の台風の影響

で屋根にブルーシートが張られたりと、多くの災いが覆っています。

富津市は幸い感染者がゼロということですが、それが出るのも時間の問題だと言われています。

どうも、なんとなく落ち着かない感じや不安な感情が私たちにまわりついている気がしてなりません。そんな中でロータリーの例会も長期の休会を余儀なくされたのは皆さんも記憶に新しいところです。

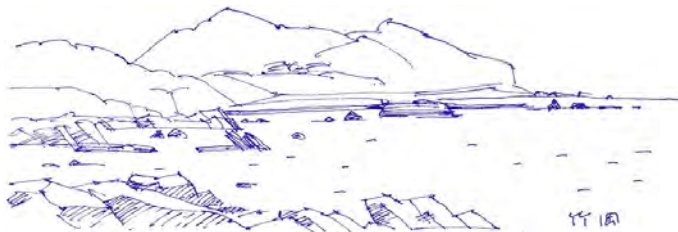
ところで先月6月からようやく再開された例会に出ていて私が率直に驚いたのは、年配の先輩の皆さんの(いい意味で)出席率がものすごく高いこと。「コロナウイルスなんかへっちゃら」とまでは思っていないでしょうが、外出がはばかられる雰囲気の中でこの出席率に私は驚いています。これは50数年ずっと続いている富津中央RCの特徴だと思えますが、和やかで気さくで和気あいあいとしたアットホームな雰囲気、その居心地の良さが出席の意欲を駆り立てているのだと感じています。

だからこそ重要なのは、感染防止の対策をきちんとして罹患者を出さないという環境整備が必要なのだと思います。その思いの表れがこのハリボテの力作になった訳ですが、そのほかにもクラブとして今後早急に対応しなければいけない課題がこのあたり(感染防止対策)にあるのではないかと感じています。皆さんのアイデアをお待ちしています。

先ほど多くの災いが覆っていると話させていただきました。

漆原ガバナーがペットの研修の資料の中だった

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館  
Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
293-0043  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



と思いますが、こんなお話をされていました。「ギリシャ神話の神ゼウスがこの世で初めての女性、パンドラに絶対に開けてはいけないという箱を渡してこの世に送った。パンドラはついその箱を開けてしまうと、その瞬間にあらゆる災い、(犯罪、憎悪、疫病)などが世の中に飛び出してしまった。慌てて箱を占めたがその箱の中にはたった一つ「希望」だけが残っていた」というお話です。

このお話を聞いて私は勇気づけられました。今までの普通だった物事の基準が大きく変わろうとしている社会の中での新年度の会長、いろいろ不安なことがたくさんありますが、未来の明るい出口(私の場合は来年の6月末)を目指して一歩ずつ進んでいこうと思います。

今日一日よろしく願いいたします。

## 幹事報告

栗原典子 幹事



1. 風の便り70号回覧
2. 米山記念奨学委員長セミナー礼状回覧
3. 国際ロータリー日本事務局 7/20～8/30 まで在宅勤務につき、連絡はメールにてお願い。
4. ロータリーの友事務所より新型コロナウィルスに関するアンケート受領。8/31 まで WEB で回答
5. ロータリー財団セミナー案内受領
6. 6月度の財団寄付レポート回覧
7. 財団室ニュース8月号受領
8. 木更津東RC週報受領・回覧
9. 例会変更・休会のお知らせ

木更津RC

8/16(日)点鐘12:00、ブルーベリー摘み家族移動例会、8/13(木)休会

袖ヶ浦RC

8/10(月)休会、8/24(月)点鐘12:30

ホテル千成にてガバナー公式訪問

君津RC

8/24(月)ホテル千成にてガバナー公式訪問

8/31(月)休会

木更津東RC

7/29(水)点鐘18:30、アカデミアパークホテル  
納涼家族親睦例会、8/12(水)休会、8/19(水)  
点鐘12:30、ガバナー公式訪問

富津シティRC

7/29(水)の例会を7/30(木)に変更

10. マザー牧場8/1～8/23花火大会及びチケット  
販売のお知らせ

11. 世界大会に向けて毎月1万円の積み立てを実施、  
希望者申し出のこと

## お客様挨拶

ガバナー 漆原摂子様



富津中央ロータークラブの皆様こんにちは。

本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦RC所属の漆原摂子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。このコロナ禍の中、例会を開催していただきました渡辺会長、栗原幹事、そして段取りを整えていただきました窪田ガバナー補佐にまずは感謝を申し上げます。

富津中央さんはアットホームな雰囲気クラブとお聞きしておりますが、それは既に私も感じております。また届いたばかりの「ロータリーの友」8月号にも、こちらの過去の奉仕活動の様子が1ページ写真で掲載されております、姉妹クラブも多く素晴らしい活動をされているクラブと拝察致します。

## ガバナー補佐 窪田 謙様



初めてのガバナー訪問を迎えることができたことに感謝し、今日が素晴らしいガバナー訪問になることを希望します。

## 地区大会委員長(勝浦RC) 磯野典正様



地区大会委員長を仰せつかった磯野と申します。コロナ禍の中、地区大会がどのような形で行われるか不透明な面もありますがよろしくお願ひいたします。

## マザー牧場花火大会のお知らせ

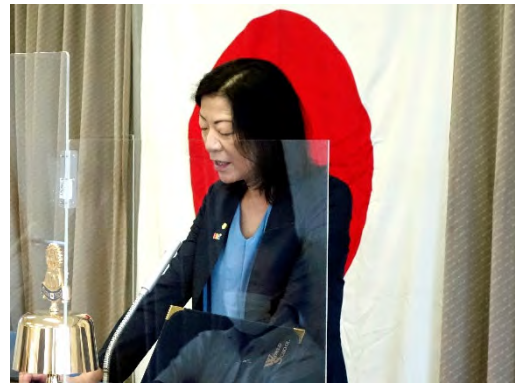
マザー牧場営業課長 須田泰弘様



8/1(土)～8/23(日)までのマザー牧場花火大会催しと前売り割引チケットに関する内容の案内がありました。

## ガバナー卓話

ガバナー 漆原撰子様



7月14日付ガバナー及び2019-20年度地区戦略計画委員会よりクラブオールにて発信致しました「地区グループ再編成について」において、来年、2021年7月1日施行「RID2790新グループ構成」についてご案内しました。こちらにつきましては、富津中央クラブの会員の方々より縷々ご意見をいただいておりますが、後程クラブ協議会にてご説明をさせていただきます。

それでは卓話をさせていただきます。直近開催のRI理事会において、今年度の強調事項が3点発表になりました。

1. 新型コロナパンデミックに対する奉仕活動に、積極的に取り組もうということ。
2. まずは現状の会員の維持。
3. このような状況下、オンラインツールを利用した会合(理事会や例会、委員会など)に慣れて、積極的に活用しましょうということ。ただし、オンラインに不慣れな会員さんを取り残すことのないようにお願いします。機器の操作に不慣れな会員さんには、思いやりの心で丁寧に教えてあげていただきたいと思います。

また、RI理事会とR財団管理委員会は、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この図の真ん中の絵がそれを示しています。この環境の保全は、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のひとつに加わります。この申請は、2021年7月1日からとなります。

改めてご紹介致します、今年度のRI会長であるホルガー・クナーク氏はドイツからは初めてのRI会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新

年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなどと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義と思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそR再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常(ニューノーマル)」に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、RI会長の指示ですのでお話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。
2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。
3. 新会員を慎重に選びましょう。
4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントの一つ一つを見てみましょう。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。また衛星クラブの設立、そして現在のコロナ禍の状況下、Eクラブの設立も有効でしょう。このような活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したい

と思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、RIの4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかかわりを促すという、RIの4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思えます。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われます。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め(これもRIの4つの行動計画のひとつです)、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていたくことも一考です。諸岡直前ガバナーが提唱された3,333運動は目標としながら、まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを

こちらは、私たちが30年以上にわたり取り組んで

まいりました、ポリオ根絶運動を周囲にお伝えし、広く支援者・賛同者の輪を広げる目的です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は世界中で5600件以上のイベントが実施されました。現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増、現在85名が罹患しています。一方これらの国では、今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在はコロナ感染拡大の防止に利用してもらうことで、支援を続けています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。RIの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えているのです。10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようにお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。4/29に配信しました YouTube での地区研修協議会でもお話致しましたが、今年度は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサーヴィスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するという事は、先程から話に出ております、RIの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal Of Service の実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参

加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次の The Ideal of Service の実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブ会長様には、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。またクラブの委員長の皆様には、この図の中で、それぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長におかれましては、The Ideal of Service を実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましようとして申し上げて参りました。一方RIは、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ

独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画(中長期的計画)をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話しました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切に、自分が周囲に役立つことをする」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、Rの5大奉仕部門においてはその実践に役立つこと、そのような人格づくりが第一かと思えます。私自身としては、ロータリーって何?と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。

個人を確立し、クラブ活動に貢献することで、4つの行動計画即ち地域や世界にインパクトをもたらし、会員の基盤は広がり、親睦を通じて会員はより積極的に関わり、変化に呼応する適応力を高める。クラブはそのような人づくりの場と捉えております。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

## 委員会報告

### 米山記念奨学委員長セミナー出席報告

渡辺哲夫 米山担当部長



私は、去る7月18日(土)14:00~15:30 三井ガーデンホテル千葉において2020-21年度「クラブ米山記念奨学委員長セミナー」が開催されましたので出席をいたしました。

当日は、新型コロナの影響もありましたが総勢100名を超える参加者があり、鈴木壮一地区委員長(君津 RC)の挨拶、漆原摂子ガバナー挨拶の後、来賓の紹介があり、14時35分からは公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事、関口徳雄パストガバナー(浦安 RC)による「米山奨学事業について」と題して、基調講演が行われました。

講演終了後、新年度地区米山奨学生の紹介があり、28名の奨学生がそれぞれに奨学生として今年の抱負とロータリークラブに対してのお礼を自己紹介形式で行われ予定時刻に終了しました。

### 親睦ゴルフコンペの結果報告

渡辺哲夫 親睦担当部長

7月26日(日)鹿野山ゴルフ倶楽部に於いて、第9回富津中央 RC 親睦ゴルフコンペが4組15名の参加で、今回も袖ヶ浦 RC から4名の特別参加を得て開催されました。

新型コロナウイルスの影響で、約半年ぶりの開催となり天気予報も悪い中で、1組目のスター時はスコールに見舞われプレー進行が危ぶまれましたが、雨も直ぐに止み、一転好天となり参加者も一日楽しくプレーし、親睦を深めることが出来ました。

栄えある優勝者は石渡 鋼会員(76歳)に決まり、誠におめでとうございました。なお、今回の開催に

当たり渡辺 務会長、栗原典子幹事並びに鹿野山ゴルフ倶楽部から賞品の提供を頂きました。ありがとうございます。最後に次回開催を楽しみに、又、参加ご協力をお願いして終了致しました。

## ゴルフコンペ優勝者挨拶

### 10年振りの優勝

石渡 鋼 会員



ただ今、当クラブゴルフ部長の渡辺さんより、「今回はこれまでにないハンディキャップ制を採用致しまして、これまでずっと下位に甘んじて居られた方々にそのチャンスを広げる為、無制限制を採用させていただきました」との報告の後に優勝者として、愚生の名前を挙げて頂き、複雑な心境にてご挨拶申し上げます。

ゴルフを為されない方にはお分かりにくい事と存じますが、このスポーツの特徴か、アマチュア仲間の試合の場合、弱者つまり、へたくそなプレーヤーに下駄を履かせて上級者と対等に勝負できるルールがあります。と言っても普通は無制限に高下駄を履かせることは無く、文字通り足切りがあるのですが、今回は言わば「弱者救済・下手くそにチャンスを」と、有難いロータリー精神を発揮して頂いた結果、10年振りの優勝の栄に輝くことが出来ました。

有難う御座いました。

## ニコニコBOX

鎌田良子 親睦担当部員

ガバナーをお迎えして

渡辺務、栗原典子、神子勝美、岡田良弘、志波克三枝一雄、榎本守男、小野恒靖、高橋裕之、白石幸久、白石廣、大網庄一郎、平川恵敏

渡辺哲夫、平野安照、鎌田良子、

相川恵津子(又、娘の誕生日)

ガバナー、地区委員長、ガバナー補佐をお迎えして

\*玉井百合子

ゴルフコンペで優勝、震災以来10年振りの珍事

石渡 鋼

\* >1,000円

合計21,000円

## 出席報告

相川恵津子 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	36/36	27	9		75.00%
前回	36/36	27	9		75.00%
前々回	36/36	26	10		72.22%

## クラブ協議会

渡辺会長が議長に就き、以下の3項目をテーマにして、協議会がすすめられた。

1. クラブの戦略計画について
2. 当クラブの利点・欠点
3. 私のロータリーモーメント(3名の会員が発表)

協議会のテーマに入る前に、地区グループ再編に関し、ガバナーより、地区の会員数、クラブ数の変遷の状況を踏まえて、グループ再編が検討されてきた経緯が説明された。さらに、再編の目的として、ガバナー補佐の削減、ガバナー補佐の担当クラブ数の公平化、グループ間の格差是正等を挙げ、再編は決定事項であることを、配布された資料に基づき丁寧に説明された。

ガバナーの説明に対し、石渡鋼会員が異論意見ありとして、口火を切り、高島会員、小野会員、榎本会員、高橋会員、白石幸久会員と多くの会員により、ガバナーに訴えるように多様な意見が出された。議長は、チャーターメンバーの志波会員にも意見を求めた。志波会員から、「これだけ多くの会員から多様な意見が出るのは富津中央ロータリークラブの良さであり、新たなグループの中で、新しい出会いを楽しみに活動をすすめたい」とのコメントがあり、再編問題は締めくくられた。

### 1. クラブの戦略計画について

渡辺会長より10年前に作成された長期計画書について説明があり、その当時の目標である、会員数、若い会員、女性会員の入会が概ね達成されてきていると説明された。

### 2. クラブの利点・欠点について

利点について、「アットホームな雰囲気の中で、会員同士が和気あいあいと過ごせる居心地の良さ」を挙げ、欠点については特に指摘がなかった。

### 3. 私のロータリーのモーメント

石渡 鋼 会員(入会歴44年)



ロータリーに入会したおかげで、ベルリンオリンピックの棒高跳びで2位、3位の銀、銅のメダルを分け合った西田修平選手や、マラソンで優勝した孫基禎選手と直接に会うことができた思い出を語った。

白石幸久 会員(入会歴24年)



仕事上のいろいろな局面で、ロータリーの理念と四つのテストのすばらしさを体験した思いを語った。

岡田良弘 会員(入会歴4年)



入会のいきさつや、ロータリーに入ったおかげで台湾の嘉義南扶輪社の記念式典で舞踊を披露する体験ができたことを熱く語った。



漆原摂子ガバナー訪問記念撮影